

## 令和3年度福岡市『介護労働に関するアンケート調査』のご案内

福岡市では、市内の介護労働の現状を把握し、政策の推進に活かすために、アンケート調査を実施することといたしました。

つきましては、アンケート調査にご協力いただきたく、ご案内申し上げます。お忙しいこととは存じますが、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

なお、本調査は、公益財団法人九州経済調査協会に委託しています。本調査でいただいた情報については、その取扱いに十分注意するとともに、本調査の目的以外には使用しないことを申し添えます。

ウェブでの回答も  
できます！

<https://questant.jp/q/kaigo2021jigyosho>



### 〈ご記入にあたってのお願い〉

1. この調査は、福岡市指定介護サービス事業所に送付しております。
2. 記入は黒のボールペンまたは鉛筆で記入してください。
3. この調査票は、**令和3年7月20日(火)**までに同封の封筒（切手不要）に入れて投函していただきますようお願いいたします。
4. 本調査は、パソコン/スマートフォン等によるウェブ回答も可能です。右記のQRコードあるいはURLよりご回答ください。
5. この調査について、ご質問等がありましたら下記にお問い合わせ下さい。

#### 【調査票の内容・記載方法に関する問い合わせ、回答送付先】

公益財団法人九州経済調査協会 調査研究部  
担当：平松、中島、能本  
〒810-0004福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル共創館5階  
TEL:092-721-4905

#### 【調査主体 委託元】

福岡市 保健福祉局 高齢社会部 高齢社会政策課  
担当：熊丸、福留  
TEL:092-711-4595



- ③ 貴事業所で実施している介護保険の指定サービス事業の種類はどれですか。  
 (あてはまる番号全てに○)
- ④ 令和3年3月1か月間における各サービスの利用者数を教えてください。

③ サービスの種類			④ 令和3年3月1か月 間の利用者数(延べ ではなく実人数)	
介護給付サービス	居宅サービス	1	訪問介護	人
		2	訪問入浴介護	人
		3	訪問看護	人
		4	訪問リハビリテーション	人
		5	居宅療養管理指導	人
		6	通所介護	人
		7	通所リハビリテーション	人
		8	短期入所生活介護	人
		9	短期入所療養介護	人
		10	特定施設入居者生活介護	人
		11	福祉用具貸与	人
		12	特定福祉用具の販売	人
	地域密着型サービス	13	地域密着型通所介護	人
		14	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	人
		15	夜間対応型訪問介護	人
		16	認知症対応型通所介護	人
		17	小規模多機能型居宅介護	人
		18	複合型サービス(看護小規模多機能型居宅介護)	人
		19	認知症対応型共同生活介護	人
		20	地域密着型特定施設入居者生活介護	人
		21	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	人
		22	居宅介護支援	人
	サービス施設	23	介護老人福祉施設	人
		24	介護老人保健施設	人
		25	介護医療院(介護療養型医療施設)	人
予防給付サービス	居宅サービス	26	介護予防訪問入浴介護	人
		27	介護予防訪問看護	人
		28	介護予防訪問リハビリテーション	人
		29	介護予防居宅療養管理指導	人
		30	介護予防通所リハビリテーション	人
		31	介護予防短期入所生活介護	人
		32	介護予防短期入所療養介護	人
		33	介護予防特定施設入居者生活介護	人
		34	介護予防福祉用具貸与	人
		35	特定介護予防福祉用具の販売	人
	地域密着型サービス	36	介護予防認知症対応型通所介護	人
		37	介護予防小規模多機能型居宅介護	人
		38	介護予防認知症対応型共同生活介護	人
介護予防・日常生活支援総合事業	39	介護予防支援	人	
	40	介護予防型訪問サービス	人	
	41	生活支援型訪問サービス	人	
	42	介護予防型通所サービス	人	
	43	生活支援型通所サービス	人	

問2 設立からの経過年数を教えてください。  
 (複数のサービスを実施している場合、最も経過年数の長い選択肢一つに○)

1	1年未満
2	1年以上～3年未満
3	3年以上～5年未満
4	5年以上～10年未満
5	10年以上

## ■介護人材の就労状況

問3  
 ① 貴事業所の従業員は何人ですか。また、そのうち介護保険の指定介護サービス事業に従事する者は何人ですか。それぞれの人数を記入してください。  
 (令和3年3月31日現在)

		正規職員	非正規職員 (注3)
貴事業所の全従業員数 (注1) = A+B		人	人
A	うち、介護保険の指定介護サービス事業に従事する従業員数 (注2)	人	人
B	うち、介護保険の指定介護サービス事業以外の業務に従事する従業員数	人	人

- (注1) 貴事業所の従業員とは、職種や役職等に関係なく、貴事業所が実施する全ての事業に従事する者の在籍者総数(常勤労働者換算ではありません)です。ただし、派遣労働者、委託業務従事者は含みません。
- (注2) 職種や役職に関係なく、介護保険の指定介護サービス事業に従事する者の総数です。なお、該当者がいない場合は、0(ゼロ)を記入してください。ただし派遣労働者、委託業務従事者は含みません。
- (注3) 正規職員・・・雇用している労働者で雇用期間の定めのない者  
 非正規職員・・・正規職員以外の労働者(契約、嘱託、パートなど)

② 貴事業所の1年間の採用者数・離職者数  
 貴事業所に従事する従業員について、1年間(令和2年4月1日～令和3年3月31日まで)の採用者数、離職者(注)数をお伺いします。  
 又、貴事業所で1年間に離職した者を勤続年数別にご記入ください。

		1年間(令和2年4月1日～令和3年3月31日)の採用者・離職者		離職者の内数(勤続年数)		
		採用者数	離職者数	1年未満の者	1年以上3年未満の者	3年以上の者
介護保険の指定介護サービス事業に従事する従業員	正規職員	人	人	人	人	人
	非正規職員	人	人	人	人	人
介護保険の指定介護サービス事業以外の業務に従事する従業員	正規職員	人	人	人	人	人
	非正規職員	人	人	人	人	人

(注) 離職者とは、調査対象期間中に事業所を退職したり、解雇された者をいい、他企業への出向者・出向復帰者を含み同一企業内での転出入者を除く。

問4

- ① 貴事業所では、従業員の職種別の過不足の状況は、次のうちどれにあてはまりますか。  
 (各項目あてはまる番号一つに○) (注1)

	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰
1 管理者	1	2	3	4	5
2 生活相談員	1	2	3	4	5
3 介護支援専門員 (ケアマネージャー)	1	2	3	4	5
4 介護職員(注2)	1	2	3	4	5
5 訪問介護員	1	2	3	4	5
6 看護職員	1	2	3	4	5
7 PT・OT・ST等(注3)	1	2	3	4	5
8 全体でみた場合 (上記1～7について)	1	2	3	4	5

- (注1) 資格ではなく、従事している仕事(職種)に着目してください。  
 なお、兼務している職員については、主として従事する仕事(職種)にのみ記入してください。  
 (注2) 介護職員とは、介護保険の訪問介護以外の指定介護事業所で働き、直接介護を行う者をいう。  
 (注3) PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等の機能訓練指導員。

- ② 問4の①で「8 全体でみた場合」の「大いに不足」「不足」「やや不足」のいずれかに○を付けた事業所で、不足している理由はどれだと思えますか。  
 (あてはまる番号一つに○)

1	採用が困難である
2	離職率が高い(定着率が低い)
3	事業拡大によって必要人数が増大した
4	その他 [ ]

問5 介護人材の離職防止や定着促進のためには、どのようなことをすると効果があると思いますか。（各項目あてはまるもの一つに○）

	とても効果があると思う	やや効果があると思う	どちらとも言えない	あまり効果がないと思う	ほとんど効果がないと思う
1 残業を減らすこと	1	2	3	4	5
2 有給休暇を取りやすくすること	1	2	3	4	5
3 日勤・夜勤などの勤務形態について本人の希望を叶えること	1	2	3	4	5
4 賃金（基本給）を上げること	1	2	3	4	5
5 納得度の高い人事評価制度であること	1	2	3	4	5
6 発揮している能力に応じた賃金制度にすること	1	2	3	4	5
7 求人事業者と求職者をしっかりとマッチングすること	1	2	3	4	5
8 優れた職員を表彰すること	1	2	3	4	5
9 非正規職員を、雇用期間の定めがないフルタイム勤務である正規職員に積極的に転換すること	1	2	3	4	5
10 研修の実施など介護未経験の新人育成を強化すること	1	2	3	4	5
11 職員を有給扱いで外部研修に出すこと	1	2	3	4	5
12 リーダー層へのマネジメント研修の実施	1	2	3	4	5
13 体調不良等による急な休みを取りやすいよう時間単位で取得できる年休制度等を整備すること	1	2	3	4	5
14 職員同士が気軽に話し合う機会を増やすこと	1	2	3	4	5
15 経営方針やケア方針に対する従業員の理解を促進する機会を設置	1	2	3	4	5
16 業務分担や業務の手順を分かり易く整理し示すこと	1	2	3	4	5
17 介護ロボット（マッスルスーツ、見守りセンサー等）の導入による生産性の向上 ※コストその他導入に当たっての課題は考慮しないものとします	1	2	3	4	5
18 ICT技術（タブレット端末やLINEなど）導入によるコミュニケーションの活性化 ※コストその他導入に当たっての課題は考慮しないものとします	1	2	3	4	5
19 ICT技術（タブレット端末やLINEなど）導入によるサービス実施記録の効率的な作成 ※コストその他導入に当たっての課題は考慮しないものとします	1	2	3	4	5
20 従業員に経営状況を説明する機会の設置	1	2	3	4	5
21 親睦会を増やすこと	1	2	3	4	5
22 休憩時間の確保	1	2	3	4	5
23 子育て支援の充実	1	2	3	4	5
24 育児休暇の取得促進	1	2	3	4	5
25 介護休暇の取得促進	1	2	3	4	5
26 利用者や家族からのハラスメント対策の充実	1	2	3	4	5
27 公的な悩み相談窓口を設けること	1	2	3	4	5
28 介護従事者の大切さの啓発を市が続けていくこと	1	2	3	4	5

## ■高齢者雇用

問6 60歳以上の高齢者を雇用していますか。  
(あてはまる番号一つに○)

1	既に雇用している又は雇用が決まっている	} 問7へ進む
2	雇用に向けて検討している	
3	関心はあるが情報収集程度にとどまっている	} 問8②へ進む
4	高齢者の雇用に関心はない	

問7 問6で1又は2に○を付けた事業所において、どのような職務で雇用しているか、又は想定しているのかお尋ねします。(あてはまる番号全てに○)

1	管理者
2	生活相談員
3	介護支援専門員(ケアマネージャー)
4	介護職員(注1)
5	訪問介護員
6	看護職員
7	PT・OT・ST等(注2)
8	事務職員
9	調理・清掃・リネン関係職
10	送迎ドライバー
11	その他( )

(注1) 介護職員とは、介護保険の訪問介護以外の指定介護事業所で働き、直接介護を行う者をいう。

(注2) PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等の機能訓練指導員。

問8

- ① 問6で1又は2に○を付けた事業所において、60歳以上の高齢者の新たな雇用又は雇用継続のため、実施（計画を含む）していることがありますか。  
（力を入れているもの全てに○）

1	ニーズに応じた仕事内容の配慮等
2	柔軟な勤務制度整備
3	健康管理対策
4	必要な知識等の教育の実施
5	業務マニュアルの整備
6	サービス提供責任者等によるフォロー体制
7	高齢者に対する管理者の指導力向上等の教育
8	その他（ ）

- ② 問6で3又は4に○を付けた事業所において、60歳以上の高齢者の新たな雇用又は雇用継続が進まない理由は何だと考えられますか。  
（考えられるもの全てに○）

1	ニーズに応じた仕事内容の配慮等が困難
2	柔軟な勤務制度整備が困難
3	健康管理対策が困難
4	必要な知識等の教育の実施が困難
5	業務マニュアルの整備が困難
6	サービス提供責任者等によるフォロー体制が困難
7	高齢者に対する管理者の指導力向上等の教育が困難
8	その他（ ）



## ■介護ロボット・ICT※

※介護ロボット・ICTとは、『移乗系支援ロボットや見守りセンサーなど、情報を感知・判断し動作を行うことで利用者の自立支援など介護の質の向上や介護者の負担の軽減に役立つ介護機器』や、『スマホアプリ・タブレット等の活用により情報の入力や記録、共有をスムーズにするなど介護の質の向上や介護者の負担の軽減等に役立つ情報通信技術』を指す

問9 介護ロボット・ICTの導入についてどのように考えていますか。  
(あてはまる番号一つに○)

1	既に導入している又は導入が決まっている
2	導入に向けて検討している
3	関心はあるが情報収集程度にとどまっている
4	導入に関心はない

問10 一般的に介護ロボットやICTの普及が進んでいない理由はなんだと思いますか。  
(それぞれ5段階であてはまる番号一つに○)

	とても そう思う	まあそう 思う	どちらと も言えな い	あまりそ う思わな い	ほとん どそう思 わな い
1 機器自体の導入コストが高いから	1	2	3	4	5
2 Wi-Fiネットワーク等の環境整備コストが高いから	1	2	3	4	5
3 メンテナンスコストがかかりそうだから	1	2	3	4	5
4 介護ロボットやICTについて良い導入事例を見ないから	1	2	3	4	5
5 過去に導入したが使わなくなった経験があるから	1	2	3	4	5
6 国や自治体の補助金について知らないから	1	2	3	4	5
7 国や自治体の補助金の申請方法がわからないから	1	2	3	4	5
8 導入の効果が見えないから	1	2	3	4	5
9 導入検討のための人員が足りないから	1	2	3	4	5
10 職員には機器の扱いが難しそうだから	1	2	3	4	5
11 使うときの機器のセッティングに時間がかかりそうだから	1	2	3	4	5
12 機器の故障やトラブルが心配だから	1	2	3	4	5
13 メンテナンスが大変そうだから	1	2	3	4	5
14 利用者や家族の理解が得られにくいから	1	2	3	4	5

## ■外国人人材

問11

- ① 外国人介護人材の雇用についてどのように考えていますか。（あてはまる番号一つに○）

1	現在雇用している又は雇用が決まっている	→ 問11②へ進む ↓ 問12へ進む
2	過去に雇用したことがあるが、現在は予定も含め雇用していない	
3	雇用に向けて検討している	
4	関心はあるが情報収集程度にとどまっている	
5	雇用に関心はない	

- ② ①で「現在雇用している又は雇用が決まっている」と回答した方は、何人雇用していますか。  
（令和3年3月31日現在）

	人
--	---

- 問12 外国人介護人材雇用に関して必要だと思うことはなんですか。  
経験がなく分からない場合はイメージや想像で良いですので5段階でお答えください。  
（各項目一つに○）

	とてもそ う思う	まあそ う思う	どちら とも言 えない	あまり そ う思 わ な い	ほと ん ど そ う 思 わ な い
1 日本人職員との会話等の意思疎通の向上	1	2	3	4	5
2 利用者等との会話等の意思疎通の向上	1	2	3	4	5
3 敬語など言葉の使い方のスキル向上	1	2	3	4	5
4 日本語で文章を作る力の向上	1	2	3	4	5
5 日本語の読解力の向上	1	2	3	4	5
6 日本文化や慣習への理解の促進	1	2	3	4	5
7 採用に係るコスト低減	1	2	3	4	5
8 家賃補助や寮など人件費以外のコスト低減	1	2	3	4	5
9 雇用方法などを相談できる外部機会があること	1	2	3	4	5
10 指導職員の育成	1	2	3	4	5
11 介護技術の向上	1	2	3	4	5
12 職場に馴染みやすくなるような取組	1	2	3	4	5
13 配属先の上司や同僚の協力を得るための取組	1	2	3	4	5
14 施設周辺地域の人達の理解を得るための取組	1	2	3	4	5



## ■支援策に対する必要性と充実度

問16 国や県、市など公的な機関が実施する介護人材の確保・育成・定着のための支援策について、それぞれの項目について、支援策の必要性や現状の充実度をお聞かせください。  
(必要度・充実度の二か所に○)

	必要度					充実度				
	とても必要である	どちらかと言えば必要である	どちらとも言えない	あまり必要でない	全く必要でない	とても充実している	やや充実している	どちらとも言えない	あまり充実していない	全く充実していない
人材の確保・育成										
記入例 小・中学生が介護の魅力や大切さを知る取組	①	2	3	4	5	1	②	3	4	5
1 小・中学生が介護の魅力や大切さを知る取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 学生インターンシップ等の導入促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3 介護職員の資質向上のための研修の実施	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4 訪問介護員などを養成するための研修の実施	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5 職業相談会等による就職支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6 潜在有資格者（現在働いていない有資格者）の再就業促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7 短時間雇用等による多様で柔軟な働き方の導入支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8 外国人介護人材の受入環境整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
離職防止・定着促進										
9 「優良」事業所の表彰や公表などの事業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10 介護ロボット・ITの介護施設・事業所への導入支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11 経営者や管理者による雇用管理改善への導入支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12 風とおしの良い職場環境構築に関する支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13 介護施設・事業所による事業所内保育施設の設置等への支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14 利用者とのトラブルに関する公的相談	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15 介護事業所の業務効率化に関する支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
介護職の魅力向上										
16 介護を知るための体験型イベント等の開催	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
17 介護業界が一体となって介護の魅力を発信する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
18 福岡市市政だよりによる特集記事	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
19 福岡市ホームページによる市民向け広報	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
20 福岡市によるFacebookなどSNSによる発信	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問17 福岡市では介護人材の不足が見込まれています。あなたは、介護人材を確保するために、本市はどのような取組をすれば良いと思いますか。

(自由記述)

※アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。